

平成28年度行政事業レビューシート( 内閣官房 )

<b>事業名</b>	緊急事態対処に必要な経費			<b>担当部局庁</b>	内閣官房副長官補		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成22年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	事態対処・危機管理担当		内閣参事官 今西靖治		
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	-			<b>関係する計画、通知等</b>	内閣官房に沖縄危機管理官を置く規則(平成16年10月15日内閣総理大臣決定)				
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	沖縄において、在日米軍関連の重大事故が発生した際に「米軍事故対応現地緊急対策チーム」が立ち上げられ、内閣官房が内閣官房沖縄危機管理官を中心として、事故現場における情報集約及び政府中枢への報告等に必要となる任務を適切に遂行するための活動拠点車両等の整備・維持に係る経費								
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	内閣官房沖縄危機管理官等が重大な在日米軍事故が発生した際に使用する活動拠点車両及び携帯電話の維持及び使用に関する経費								
<b>実施方法</b>	直接実施								
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4		
	執行額	0.1	0.3	0.3					
執行率(%)		23%	63%	68%					
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	
	-	-	目標値	-	-	-	-	-	
	-	-	達成度	%	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック		
<b>定量的な成果目標の設定が困難な場合</b>	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と25~27年度の達成状況・実績					
	沖縄における在日米軍関連の重大事故が発生した時の事故現場における情報集約、政府中枢への報告等にかかる対応強化が目標となるため、定量的な成果目標を定めることが困難である。			沖縄における在日米軍関連の重大事故が発生した時の事故現場における情報集約、政府中枢への報告等にかかる対応強化が目標であり、それらの対応強化を図ることで、重大事故が発生した場合により迅速に対応することが可能となり、さらなる国民の安心・理解の促進につながっている。					
<b>事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績</b>	代替目標	代替指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 30年度	目標最終年度 -年度	
	沖縄における在日米軍関連の重大事故が発生した時の事故現場における情報集約、政府中枢への報告等にかかる対応強化に向けた実動訓練を実施する。	実動訓練の回数	実績	回	1	1	1	-	-
			目標値	回	1	1	1	1	-
達成度			%	100	100	100	-	-	
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	沖縄における在日米軍関連の重大事故が発生した時の事故現場における情報集約、政府中枢への報告等の実動訓練の回数	活動実績	回	1	1	1	-		
当初見込み		回	1	1	1	1			
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	車両及び携帯電話の維持に係る経費/一式		単位当たりコスト	円	90,000	250,000	270,000	490,000	
			計算式	/	90,000/1	250,000/1	270,000/1	490,000/1	

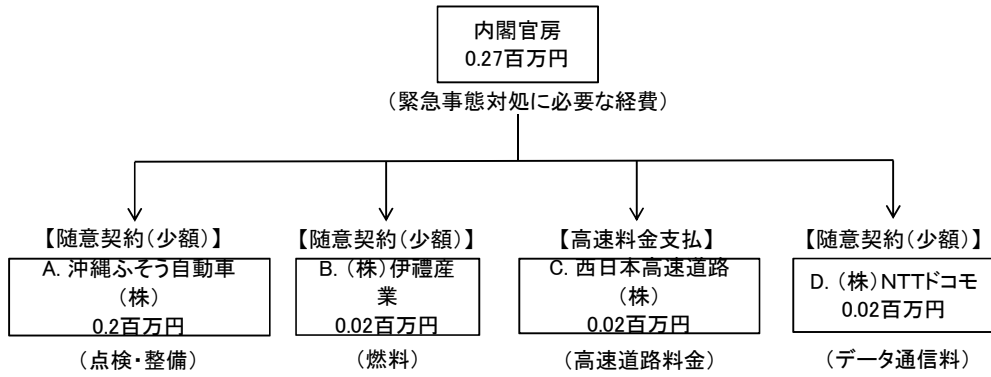
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由 28年度に車検を受けることから、29年度は車検のための経費及び自動車重量税を計上していないことによる減。
	庁費	0.3	0.3	
	情報処理業務庁費	0.1	0.1	
	自動車重量税	0	0	
	計	0.5	0.4	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	-											
		施策	-											
		測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標年度 -年度				
				実績値	-	-	-	-	-	-				
			目標値	-	-	-	-	-	-					
			定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)								
				-	-	-								
			-											
		施策の進捗状況(実績)												
		-												
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
		-												
		アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-								
				KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度			
			成果実績		-	-	-	-	-	-				
目標値	-		-		-	-	-	-						
達成度	%													
KPI (第二階層)			単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度						
	成果実績		-	-	-	-	-	-						
	目標値		-	-	-	-	-	-						
達成度	%													
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係														
-														

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	沖縄における在日米軍の重大事故が発生した時の事故現場における情報集約、政府中枢への報告等にかかる対応強化を目標とする国民の関心の高い事業であり、国が実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	内閣総理大臣決定により行っているため、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	沖縄における在日米軍の重大事故が発生した時の事故現場における情報集約、政府中枢への報告等にかかる対応強化を目標とする国民の関心の高い事業であり、国が実施すべき事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定についても、妥当であるか十分な検討を行うとともにコストの削減にも努めている。	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	効果的・効率的な目標達成のため、必要なものについて、十分な比較検討を行っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	沖縄における在日米軍の重大事故が発生した時の事故現場における情報集約、政府中枢への報告等にかかる対応強化が図られている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	整備した活動拠点車両等については、在日米軍の事故対応のみならず、事故を想定した訓練にも活用しており見合っている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	整備した活動拠点車両等については、在日米軍の事故対応のみならず、事故を想定した訓練にも活用している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	沖縄における在日米軍の重大事故が発生した時の政府としての情報収集能力強化及び政府中枢への報告等の対応強化について、活動拠点車両の適切な維持・運用及び通信機器等が効果的・効率的に整備・運用されており、特に問題なし。			
	改善の方向性	引き続き、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に努める。			
外部有識者の所見					
平成27年対象					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	予算規模は比較的小さいものの、事業の妥当性を計る代替目標は満足している反面、不用率が高いため、適正な予算要求となっているかの検証を行う必要がある。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き事業の妥当性を維持するため代替目標を達成しつつ、年度毎の執行状況を検証し、適正な予算要求の検討を行った。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	0016
平成25年度	0009	平成26年度	0010	平成27年度	0011

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



チェック

支出先上位10者リスト

A.

1	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	沖縄ふそう自動車株式会社	9360001008568	点検・整備	0.2	随意契約(少額)	-	-	

B.

1	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社 伊禮産業	8360001008453	燃料	0	随意契約(少額)	-	-	

C.

1	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	西日本高速道路株式会社	3120001112341	高速道路料金	0	-	-	-	

D.

1	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社 NTTドコモ	1010001067912	データ通信料	0	随意契約(少額)	-	-	

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック